

1 1) 国際委員会

委員長：小川 令

担当理事：松村 一

委員：秋田 新介、浅野 裕子、今井 啓介、小野 真平、貴志 和生
河野 太郎、関 征央、素輪 善弘、田中 里佳、橋本 一郎
水野 博司、矢野 智之、吉村浩太郎

主な議題：

1. 2023 年基礎学術集会における International Session 開催の件
2. 2024 総会・学術集会における International Session 開催の件
3. Plastic Surgery The Meeting 2023 (ASPS) in Austin 参加報告掲載の件
4. Plastic Surgery The Meeting 2024 (ASPS) in San Diego の発表者選定の件

活動の概要：

1. 2024 基礎学術集会の件
2. 2025 総会・学術集会の件
3. Plastic Surgery The Meeting 2024 (ASPS) in San Diego の参加報告掲載の件
4. Plastic Surgery The Meeting 2025 (ASPS) in New Orleans の発表者選定の件
5. 4th APRAS Educational Webinar の件
6. 5th APRAS Educational Webinar の件
7. 6th APRAS Educational Webinar の件

活動の概要：

1. 委員会が企画する国際セッション関連費は、総会 400 万、基礎学術集会 200 万であるが、2024 年 10 月の基礎学術集会では、国際プログラムは IPSRC として、木曜・金曜に 2 部屋、土曜に 1 部屋で開催することとなった。15 名の宿泊費 199 万 2522 円を国際セッション関連費として支出した。
2. 2025 年 4 月の総会・学術集会では、美容外科の教育を考えるセッションで招聘する韓国の Yeon Jun Kim 先生に支払う 3000USD、ドイツの Dirk Richter 先生に支払う 5000USD のほか、MOU に基づいた招聘（8 名で 11000USD）に対して国際セッション関連費を使用することとなった。都内の宿泊費が高価であるものの、400 万以内に収まる見込みとなった。
3. Plastic Surgery The Meeting 2024 (ASPS) in San Diego に参加し、報告書執筆をご承諾いただいた 9 名の参加報告を日形会 Website に掲載した。
4. Plastic Surgery The Meeting 2025 (ASPS) in New Orleans への演題推薦（口演 1 件、ポスター 10 件）を応募のあった 10 演題から選出し、口演 1 件、ポスター 8 件、不採択 1 件となった。理事長の承認を得て、本人に通知した。選出されなかった 1 演題に関しては、学会への通常の演題投稿を勧め、ポスターに選出された 8 演題に関しては、自ら演題投稿して口演を目指しても良いことを通知した。実際に出席された後は、参加報告を web に掲載する予定である。
5. 2024 年 9 月 4 日に 4th APRAS Educational Webinar が開催された。Topics は Facial Aesthetic Surgery であり、日本人講師は参加していない。
6. 2025 年の 1 月 10 日に 5th APRAS Educational Webinar が開催された。下肢再建がトピックスであり、国際委員会で選出された昭和大学の高木信介先生が講師として参加された。

7. 2025 年の 5 月に 6th APRAS Educational Webinar が開催されるが、手外科がトピックスであり、国際委員会において日本医科大学の小野真平先生が講師として推薦された。